



自分の仕事が「楽しい」と 思える医師を、 この京都で育てていきたい。

尾本 篤志 医師

京都第一赤十字病院
糖尿病・内分泌・リウマチ内科

出身大学: 京都府立医科大学
京都のよさ: 街中に歴史有。
大学時代は蛤御門を歩いて自転車通学をしていました。

1 指導医の声

VOICE OF ADVISING DOCTOR

京都を代表する急性期病院である京都第一赤十字病院。救急の一線を担う同院には、高い使命感を持った人材が集まります。6割を超える研修医が後期研修まで残るとい同院。その研修内容について、尾本先生に話をうかがいました。

■まずは、研修プログラムの特色を教えてください。

プログラムは総合診療・内科コース、小児・成人医療コース、総合診療・外科コースの3つに分かれます。1年目に内科6カ月、救急2カ月、麻酔科2カ月、外科2カ月をローテートした後、2年目からコース内容が変わり、それぞれの研修医のニーズに合った形で選択が可能になります。たとえば小児・成人医療コースでも、個人の希望があれば内科系を多めに選択することも可能です。研修を進めていく中で志望科が変わる方も多いため、柔軟に対応できる仕組みを用意しています。

■研修医の指導で気をつけている点はありますか？

研修医に様々な臨床経験を積ませることは重要ですが、同時にそれは過剰な負担や責任を負わせたり、指導に目が届かなくなっ

たりする危険性もあることなので、それぞれの自主性を重んじながらも、最後は必ず上級医がチェックするような体制で指導を行っています。

また、「教育なくして病院の発展なし」をスローガンに、研修医の勉強会にも力を入れています。毎日行われるERでの症例検討会、年に50回程度開催される研修医向けの全体カンファレンス、ローテーション中に開催される各診療科の症例検討会や個人レクチャー、先輩研修医による副直導入オリエンテーションなど、学習機会は非常に多彩です。換算すると、年間で約150回もの学びの機会があるということになります。同時に、それが過度な負担にならないよう、無駄な時間はできるだけ削ったりして、メリハリのある職場環境作りを心がけています。

当院では、後期も病院に残る研修医の割合が6割を超えています。市中病院で学べるプライマリケアと、大病院で身につく専門性の高さがほど良く含有されている環境が良いのでしょう。また各科の垣根が低く、お互いに助け合う雰囲気があって、研修医にとってもストレスの少ない職場なんだと思います。

■「KMCC」の取り組みのどんな点に期待していますか？

京都府は全国的にみると人口当たりの医師数は恵まれている状況ですが、実際は地

域差が激しく、地方では医師不足が深刻です。KMCCには地域格差を解消する目的で地方と都市部それぞれの病院の相互連携を実現し、「オール京都」という形での医療を推進してほしいと思います。医師各々が目指す医療を実現するための「場」の提供、それを期待したいですね。

■最後に、医学生の方々にメッセージをお願いします。

医学生の方々には、医療とは離れたさまざまな社会勉強の機会を大切にしてほしいと思います。人として成熟することが、医師として成熟することの必要条件。そうした要素を備えている人は、私たちから見てもすごく魅力的なんです。

私は自分の仕事に誇りを持って、仕事を愛し、仕事が楽しいと思える医師を育てたいと思っています。医療の中で、面白くない分野は何一つありません。自分の楽しめる分野を見つけるのが初期研修の2年間なんです。そのために上質の研修をしっかりと行える環境を作ることが、私たちの役目だと思っています。



← 京都大学医学部附属病院の
研修医1日密着レポートへ



京都第一赤十字病院 一次救急から三次救急まで年間約2万5千人の救急患者を受け入れる救命救急センター。京都府の総合周産期母子医療センターを擁するなど、高度専門医療を各科が持ち合わせていることが大きな特長。
[問い合わせ先] 人事課 TEL: 075-561-1121 (内線3202)
E-mail syokuinka@kyoto1-jrc.org

平成24年度から
京都大学ランチ開設!

KMCCって?

Kyoto Medical Career support Center(京都府地域医療支援センター)の略称。京都府立医科大学と京都大学医学部の2大学、医療機関や医療関係団体、行政が参画し「オール京都体制」で若手医師のキャリアアップを支えます。



Kyoto Medical Career support Center
京都府地域医療支援センター

京 都 で 学 び た い
医 学 生 へ

クローズアップ地域医療

京都式キャリア支援制度

おもな3つの事業

様々なキャリアを目指す人のために、10年、20年先の未来を見つめた多様なキャリア支援事業を行っています。



① 各種研修会・講演会

【京都府医師会・KMCC】

新研修医総合オリエンテーション、研修医・指導医のための講演会・交流会などの開催や研修医のメーリングリストによる情報交換の場を提供。また、京都府医師会ホームページ上で「ホットラウンジ」を開設し、里親的立場で様々な相談に応えます。



「研修医のための研修と交流会」のひとコマ

② KMCCキャリアパス

【KMCC】



全国でも屈指の指導医のもと、総合内科、救急科の専門医資格の早期取得をめざす魅力的なキャリアプランです。府内の病院が連携し、キャリア形成を支援します。総合内科・総合診療科コースに続き、救急科コースも募集します。(平成25年4月から研修開始)

③ 医科大学院学費免除制度

【京都府】

医学研究をリードする京都府立医科大学大学院・京都大学大学院医学研究科の入学料および学費が免除となります(一定の条件があります)。地域での医療勤務の経験を経て、キャリアアップを図ることができます。



京都府立医科大学大学院



京都大学大学院医学研究科

次ページからは、
京都の臨床研修病院をPick Up!

KMCCでは、府内23臨床研修病院の研修情報が一目でわかるガイドブック(初期・後期)を作りました。資料請求は、KMCCホームページ「京都に縁のある医師との絆ネット」から

京都 医師 絆ネット

検索

今すぐClick!

